

—戦後 CIA-自民官僚閥支配 対 次期政権期待の小沢民主—

今回西松事件経緯は近未来日本命運を決するだろうくらいの**大分岐点**, その構造を明かす。戦後日本は**実質自民一党独裁政治**、法規上民主先進国では例がないほどに特異なのだ。その由来は敗戦米支配、**米 CIA-軍産複合体極右-自民旧福田東大官僚派系列**は同体である。天皇財閥を頂点に**右旗**で偽装、実態は対米従属安保体制で軍事経済政治で米補完国機能。当然この体制は国民一般搾取体制になるから騙し脅し装置(政治警察-右翼)が不可欠。戦後政治裏は自立派潰し陰謀史たる事は専門家ならば皆承知、**大衆はマスコミ騙しで無知**。その対抗路線典型が地場新興勢力旧田中派系列, 米国意向から独立-自前路線(エネルギー食糧自立策、右派は工業化路線)追求。その衝突こそが**田中潰し口疑惑**、今回はその再現だ!!。実**は田中擬似息子の辣腕小沢と有志若手民主党**、既成閥勢力は彼等だけが標的である。米 CIA 結託の東大法学部支配霞が関**官僚警察検察**こそが見えざる**閥独裁者**、生活第一の国民利益還元のために地道に利権風穴工事してるのが他ならぬ民主党、勝負核心は**戦後の閥搾取体制の暴露解体できる辣腕政治**になるか、否かの一点。

[1]: 建前民主国にして先進國中唯一の実態”自民一党独裁国”=日本の戦後暗閥構造:

① GHQ 占領下人脈(日本裏支配 CIA 代理人発端と現代日本支配構造の原点)。

進駐軍は日本エリトを戦争責任で締め上げ、代償の対米秘密協力を要求(戦後日本真相)。

真珠湾奇襲で戦争を仕掛け、多大犠牲者の敗戦占領で軍国全体主義体制から解放され、後に「民主主義、平和と経済繁栄」を只で貰ったなどという甘い歴史が地上に何時あったか。

アングロサクソン米は実用主義の国、利用可能なら天皇から犯罪者乞食まで何でも利用。米には西部開拓、ハワイ、そして日本、中国と言う基本的な長い東進政策がある。日本敗戦は彼らにして見れば、アジアに一大拠点を得たのであり、領土の次は人の支配となる。当然ながら旧日本エリート=天皇家、財閥華族、軍人警察、官僚、経済人、言論人、右翼等のめぼしい所が進駐軍に囚われ、巢鴨プリズンに収容され、恐怖洗脳される。参謀本部関係軍人、スパイの中野学校、細菌戦一石井部隊、右翼指導者、海外引揚者、戦時収監思想犯=共産党&宗教指導者、高級官僚、特高警察内務官僚、経済指導者達は**GHQ米軍の協力者**に仕立てあげられる(占領下人脈)。彼らが基礎になり戦後日本の CIA 網が形成される。その平時中核は情報機関に相応しく実**はマスコミ宣伝機関=NHK**、民放、新聞、週間月間雑誌、一般出版、芸能スポーツ界であり、実働部隊として政界官僚関係、警察検察司法、自衛隊、右翼、医学会、宗教政治等各種団体、地域団体等に広域にまずは反共思想の下で秘密網が形成されたと見られる。経済復興と共に無意識としても自立路線興隆だが、CIA 目的が**全ては米国利益**の視点だからこれらも抑圧対象化する。搾取植民地統治だからバレない為に愚民化政策も不可欠になる。当然これら不当性抵抗グループと**対米従属權益**に預かろうする組に2分する。

- (1)米日上層部(CIA)統一意思の下に実時間で動くマスコミ宣伝機関の表現検閲を統一する
秘密統括部がある。米大統領就任式にも呼ばれると言う電通と警察権力は絡む。オーム
後はやたら犯罪報道が時間を占める。自殺報道増加で自殺が増える法則があるそうだが、
筆者は犯罪報道が無意識に犯罪を誘発、かつ社会の不安鬱化臆病化を促進と見る。
中には健康不安扇動番組すらある。無知も危険だが過度の神経質は逆に病を誘発する。
- (2)芸能スポーツ等, 醜聞と事件, その他を通じて長期間を掛けて育成浸透させる事で国民
思想を無意識に支配する<不況と競争選別化容認、虚栄退廃貧困同居不感症等>。
➡:金銭物と外形美崇拜(ビジュアル系)=[背景にある事への考察思考停止]=**愚民化政策**,
:労働動機づけとしての外形美住宅獲得, 虚栄競争, 人並み主義扇動→高額品購買, 子弟
教育投資, 個人的欲求没で社会問題への能動的態度, 社会連帯意識の喪失=**愚民化政策と
並ぶ分裂させて支配せよの植民地化政策**。
- (3)宗教政治思想等団体に意識無意識の代理人を送り込み、組織員意識の制御統一化と活動
の裏支配で政治利用。
- (4)米国利害に絡む人物団体等を監視, 必要な場合は陰謀, 実力行使で抑圧を計る(秘密テロ
実働協力者)。
- (5)企業大学研究機関等の研究一般と優秀研究者&言論人等への検閲, 抱き込み, 抑圧, 情報
盗用、要するに「米国利害に絡む事を監視し, 日本国民愚民かと(政治的)能力弱体化を
計り, 支配の円滑容易化を計る」。
- (6)かように国民内部には非常に残念な事に己利益のみの為に(あるいは日本人多数派の為
と言う口実で騙して)実質結果は日本人を裏切る勢力がある。国民は以上現実を真正面
から受け止め、真実を核に団結して闘う姿勢が必要。

②戦後保守本流(従米派)と反主流派(自立派)の歴史:

戦後日本国憲法は米国製と言うのは実は間違い, 実質国産で米が認可が実態。占領軍はまず
国粋主義追放-左翼民主化を推進(米も大恐慌以後, 駐留軍内に pinkers が多かった),
だが米露冷戦構造と朝鮮戦争で一転反共路線, 以後日本は米軍駐留もあり **軍産複合体 CIA
右派**との**政治一本パイプ**こそが 60 年安保恐慌岸以来の**自民保守本流**, 戦前戦後を通じて
解体を免れたのが天皇制と東大支配官僚組織、両者結合こそが日本の**表裏支配構造**。
後に戦後解体された旧財閥も復活して実質的な**戦前華族体制**が復活。問題となる CIA は
戦後 Bush 一族等がナチス幹部密輸で創始された結果、その思想は「**国家国民は優生貴族
の搾取対象**」という貴族反民主主義, 実はこれが植民国日本エリートに感染と思われる。
因みに現代日本エリートとは殆どが**世襲制**。彼ら危惧は**革新-新興勢力台頭**による己没落
一途、常識ではまさかになるが、それは国家国民平民の抑圧弱体化。その証拠第一は生活
生命線の農林水産**資源産業安楽死**と代償の贅沢**工業化大奨励**。戦後日本は大幅に田畑
山林と河川沿岸漁業を工業化で潰す最大愚を犯す事になる。因みに米国農務省は第二
ペンタゴンとも呼ばれる国策優先産業、日本は見事に騙される。その真実はこれから。

保守本流旧福田三木と日中独自国交再開と自主エネ資源調達の米国意向無視の自立派
田中潰し歴史陰謀こそが米議会証言に発する 1976/7/27 **ローッキド事件**。田中退陣後も
小泉時代まで大勢力だった。地場意識の強い四国の同派橋本首相は対米関係で米国債売却
に言及して米逆鱗, 若くして死去。戦後最大 CIA 内閣小泉第 2 戦での**郵政民営化**で田中派実
質解体へ。田中派系最後生存者が民主党小沢。然るに今回西松事件は第 3 戦となるのだ。
因みに小沢以前に民主党は石井廣基議員暗殺, 若手永田議員偽メール陰謀失墜(最近自殺)、
竹中郵政民営化の論敵=民主経済顧問上草教授逮捕失墜(2 度目はリソナ疑惑関連)。範疇は
異なるが放送局買収で検察謀略失墜の堀江貴文氏。他方で小泉は強姦前科 2 犯、大マスコミ
は決して触れない。現マスコミは CIA 支配下なのだ。この事実を小泉賞賛の新聞人&国民は
肝に銘ずべきである。CIA 解体を意図して暗殺された JFK は本人一人に終わらず、兄弟親族
多数破滅のすごい執念憎悪集団 CIA である(Oliver Stone 監督映画 JFK)。A Sutton 氏は CIA
元祖 skull&bonds 情報収集^⑤で命を落とすが日本に伝聞しないこの手の話は多数あるだろ
う。米国民自身も己の納税で動く CIA 監視地獄陰謀にあると言う愚弄事実だ。

③—諜報の偽術—

(1) 諜報技術は一般人には公開に無い物の忍者時代以前の古くからある技術である。平時
中核こそが NHK, 主要新聞 TV は既成権力の為のマスコミ機関, その証拠?, 強姦前科 2 犯
小泉真相を彼らが一度でも報道したか?. 彼こそは Bush 同期の戦後最大 CIA 内閣首相,
現代国民心理操作専門家集団である大マスコミ(広告代理店)は彼ら牙城。殆どの国民が
日常社会悪を報道する大マスコミを正義味方と致命的誤りにある。報道が間違いと言う
よりも大規模真相の隠蔽弊害こそが大規模破壊的に支配作用してるのだ。

*参考書: 藤原肇, 小泉潤一郎と日本の病理, 光文社, 2005,

(2) 先入観, 外見偏見を下地に利用して、偽証拠をでっち上げて大衆を騙し、離反を誘う。
偽証拠-偽宣伝での冤罪失墜を謀る, 大規模な騙しを施工する。史上最大は自国秘密部隊
自作自演テロ 9/11 の架空存在アルカイダ犯行説のデマ世界広報。かような陰謀立案 CIA
専門家が, 状況次第で代理人に伝授する間接統治で陰謀実行。

(3) 典型陰謀は標的を罠に誘って落とす, 人は常に思い(欲望)に囚われる存在で、
それを偽装接触と監視で見抜き、陰謀立案になる。思いを遂げさせる舞台に引き込み、
その代償を支払わせる。弱みを握って取引を強制する場合もある。この結果, 人は過ちに
陥る事もあるが、より悪党は罠に掛ける方である事を強調しよう。永田メール陰謀。

米国ではマスコミを筆頭に企業官庁大学、民間非営利団体等あらゆる組織に代理人が潜入
する諜報支配国家の側面を知るべきだ(他方これに抵抗する勢力も健闘中である)。
これは戦後日本でも同様である(これを見抜いた専門家複数から筆者は基礎教育された)。
本報告は筆者自身の長期間での生身経験が基にある。

[2]：西松事件の本質構造：既成体制護持に危機を感じる勢力が陰謀を必要とした。

国民が素朴に感じる疑問は巨額資金提供を受けて、受託収賄相当がなかったかどうかの**本質ワイロ性**であろう。だが野党小沢では**職務権限**相当がない。西松が巨額献金する理由は常識では**公共事業受注**。だが過去周囲に疑獄多数を見た小沢が危ない事をする理由もない。政治資金の透明化では誰よりもこれを自信ありげに語る小沢、だが結果は**政治資金調達**の為に危うい橋を渡って居た粗雑な事も事実である。

問題核心は次期総理可能性が濃厚だった小沢だけに限り、正にこの時期になっての**検察権力-マスコミ大連動攻撃の異常性**であろう。同じ自民嫌疑にはマスコミは小記事なのだ。

①西松建設疑惑発端は実は検察への内部告発者によるのだと言う。

<<http://www.asyura2.com/09/senkyo58/msg/268.html>>.

この西松建設事件が奇妙なのは、「**告発**」によって成り立っているということだ。以前、この「告発」した人物は、会社における使い込みか何かで一度西松建設を辞めさせられていると報道されている。そして、奇妙なことにこの「**政権交代**」が現実になってきたこの時期に、東京地検特捜部に西松建設を告発して「**事件化**」しているのである。

この記事の趣旨はこの告発者は戦後最大 CIA 小泉政権に居た**某重鎮**の仕組んだ、彼らの最大敵民主小沢失墜目的の検察を巻き込む偽証言での陰謀だとする。

②次期革新政権待望の高まりと是が非でも民主小沢失墜陰謀の必然性：

(1)CIA流の福田腹話術の小沢民主分裂陰謀の事実('07/11)：

小沢と民主党解体危機は今回が実は初めてでない。それは福田-小沢密室会談での連立政権構想の騙し。一国の総理ともあろう者が第一野党指導者を密室会談に誘い、だますとは!! <<http://www.geocities.jp/sqkh5981g/FukudaWtalker.pdf>>. 即ち福田政権時代に生真面目小沢を汚い騙しで民主党内部分裂策謀があった事実。これは小沢心理を深く突いたCIA手法的な騙しである。福田には陰謀教示者が居る。民主党陰謀事件はこれだけでない事は既に述べた石井、永田議員、上草教授もある。

(2)決定的要因＝小沢革新政権実現を恐れる闇既成権力：

<<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B0%8F%E6%B2%A2%E4%B8%80%E9%83%8F>>

乱世の小沢と評された突出した能力はその辣腕であろう。これを敵は最大恐怖。

これは正に乱世を迎える今後の日本世界に必須な指導者能力である。現民主党は若手も多く、小沢なしだと政権獲得でも既成闇権力には**“お手玉”**というきつい指摘がある。

<http://www.the-journal.jp/contents/kokkai/2009/03/post_169.html>

(a)戦後悪事にあけた闇権力にとり、彼ら最大恐怖は政権が野党移乗した時に過去を暴かれる事である。政権掌握とは警察検察の人事と情報の支配を意味する。実は戦後日本を清算して解放新日本とする為には不可避な事である。なぜならば日本エリートとCIA仕込みの国家国民は搾取対象と言う思想実動にあったからだ。それらは小泉政権～現政権下で白日化、大規模格差労働システムは誰もが切実な大問題でもある事から判る。ほじれば一冊の本になる位に日本の政治経済-労働医療教育には大闇問題山積みだ。

(b)日米関係の戦後清算(安保政治経済体制)：

近年米国に取り、日本は打出の小鎚, 米国債大購入者, 最も対等を主張する自立政治になればこの既得権益喪失を米(CIA)は最大に恐れるだろう。これも陰謀必然になる。

(c)既成官僚権益体制の崩壊恐怖：

民主党は地道に官僚利権の壁風穴工事中、地味だがジワジワ遣られると手痛い。

③小沢民主失脚を狙うとすればどうするか？

Bush-小泉時代以後の最大特徴は結構粗雑な陰謀を大規模強引に押し通そうと言う傾向、これは彼らが窮地にある事の裏返しでもある。典型は9/11、素人米国民80%が政府調書を信用しないという有様、日本も含め各国で陰謀暴露TVドキュメント放送があった。然るに今回経過を見ると正に政権目前で小沢だけを特別扱い強引に、ダティー宣伝は同じ匂い、即ち粗雑なシナリオでも素人国民多数さえ騙せば後はゴリ押しで押し通す可能性がある。

①今回緊急マスコミ世論調査の目的は国民-民主党から小沢を引き剥がす事：

政治陰謀など全く感知にない素人多数国民の目にはどう映るか？！

形式上は政治団体献金なれば合法なれど、結果的にそこには西松外為違反の汚い金が渡ったは事後認知と言えど、事実があり、これで大報道による小沢黒の心証を与える事に大成功。3/8,9日マスコミ世論調査では過半数が小沢説明不足との国民認識。確かに大金を受けて相手素性を見抜けないは小沢側落度=敵徹底攻撃の弱点標的。実はこれで小沢失墜なれば敵の目的達成なのである事が国民には全く判っていない!!。

②政治資金規正法の専門家見解と全政治家の弱点：

元東京地検特捜検事郷原信朗氏に依れば企業献金と認識しての規正法虚偽記載適用は“自白”だけだから証拠固め罰則適用には無理があると言う<政治資金規正法概要>。

<<http://seiji.yahoo.co.jp/column/article/detail/20090306-01-0901.html>>

☞：企業献金排除, 全くの個人献金だけだと政治資金調達は不可能と言う議員証言がある。だとすれば殆どの議員は政治団体経由の企業献金を受けてる現実がある事になる。なれば小沢秘書だけ、今回突出で逮捕大報道されるのか？。

③従来趨勢では次期総理可能性大の政治家秘書起訴には公判勝利可能性がなければ
今度は検察が国政捜査との非難を免れない。8日朝日サンプロ議論では検察は次の証拠
提出があるなしの議論沸騰。何者かによってでっちあげられたと見られる「献金請求書」
という証拠捏造陰謀：<http://archive.mag2.com/0000154606/index.html>

④既成権力総力での陰謀画策=小沢一郎冤罪謀略事件：

国際評論家小野寺光一の「政治経済の真実」メールマガジン:2009年3月7日配信

何者かによってでっちあげられたと見られる「献金請求書」という証拠：
小沢一郎冤罪謀略事件:<http://archive.mag2.com/0000154606/index.html>。

以下は筆者鈴木の記事である。

(1)誰が陰謀を発動指揮するのか? = 既成権力の対敵監視機構(CIA-政治警察)。

既得権に障害になる存在はすべて監視下にあるだろう。陰謀脚本立案。

☞：2007年前参院選挙で大敗北自民既成権力は以後、小沢潰しだけを陰謀。

http://www.the-journal.jp/contents/kokkai/2009/03/post_169.html

だが福田小沢密室会談陰謀での民主分裂小沢退陣は失敗、次の策が必要になった。

日本政治家弱点は政治資金である。そこでネタ探し在必死でなされた。

(2)既成権力内での談合が形成される(漆間副官房長官(元警察庁長官)発言)。

河村建夫官房長官は八日「西松建設の巨額献金事件は自民党に波及しない」との見方を示した「政府高官」は前警察庁長官の漆間巖副官房副長官だと公表。

<http://www.hokkaido-np.co.jp/news/politics/151546.html>

<http://www3.nhk.or.jp/news/k10014617301000.html>

<http://sankei.jp.msn.com/topics/politics/3182/plt3182-t.htm>

日本警察本質機能は政治警察は誰も周知、国民刑事犯情報全掌握にあるドンが通うな記者20人前でオフレコ発言とは内部では既に談合成立済みと自白した様な事、後日国会等で記憶にないの連発で秘書官3名共謀で必死否定、この9日、検察はあわてて自民二階派に手入れ、どうも陰謀にトンでもないいきしみが生じた模様だ。

(3)政治献金する西松建設の事情：

可能性は二つ。真に公共事業受注の贈収賄狙いならば、ばれない様にせねば発注停止、相手を畏にはめるロッキード社場合は自社名誉は二の次でCIA諜報加担、西松に後者可能性はあるか?、自民最大3448万、次が問題民主2600万、改革クラブ200万、地方首長が350万と手広い。問題は会社幹部が逮捕後に当然検察側に寝返り、小沢落としの証言加担可能性、今回強引さから見れば検察は何か急き立てられてる事情があるらしい(閣高権力の要請)。

西松は小沢落とし加担の意図は当初はなかった、だが会社幹部逮捕となれば検察協力を強いられるだろう。今回の強引手法や、“小沢献金請求書”などの到底デタラメ丁稚上げ風説が警察漆間筋からマスコミに乗る事情から**粗雑陰謀のゴリ押し**が予想される。

(4) **小沢献金請求書のフレームアップ(でっち上げ) :**

<<http://archive.mag2.com/0000154606/20090307115150000.html>>

小沢一郎側からの「献金の請求書」が存在しているからしい。この請求書については、報道によって**漆間巖元警察庁長官**が言及しているとされているから、おそらく「存在」するのだろう。ただし、

この「献金の請求書」が実は「でっちあげ」なのでであると推定される。
つまり、この「献金の請求書」が「西松建設事件の告発者」か、関係者かによって「証拠でございます」と持ち込まれているものであると思われる。

ちょっと考えてみてもらいたい。どこの馬鹿が、献金について請求書を作るのか？
ちなみに請求書を偽造するなどは恐らく簡単である。ちょっと思い出してもらいたい。
永田メール事件を。永田メール事件のときは、「でっちあげのメールがつくられて、「お金を振り込んでください」と書かれていたわけだが、特徴的だったのは、この「証拠」をでっちあげるという手法である。

(5) 問題の横領免職人物、会社金使い込みとは犯罪者、生活困窮にもなる弱みにあるので不正利用に最適となろう。その怨念弱み実の利用で陰謀が可能になる。西松自身の不正を暴く、それが外為法違反摘発。これで会社幹部を取り調べできる。当然そこで政界献金にも言及するだろう。

(6) **自民二階派多数への西松献金はより多い。漆間自白発言で検察あわてて捜査(2/9).**

自民総額は 3348 万、民主は 2600 万円で自民の総額は多いのだ。二階は西松前国沢社長と大學同窓の懇意で事務所ビルも同居、過去 10 年で 6000 万もの献金情報がある (2/9)。

<資料: 日刊ゲンダイ 2009 年 1 月 16 日掲載記事>。

▽森喜朗元首相 (300 万円) ▽山岡賢次民主党国対委員長 (200 万円) ▽山口俊一
首相補佐官 (同) ー ー 等。二階氏ら複数の議員は献金やパーティー券代の返還表明。

<<http://mainichi.jp/select/seiji/news/20090308k0000m040098000c.html>>

くどくなるが、こうなればなぜ「小沢だけが**突出報道**されるのか？」が当然大問題になる。もう答えは明白であろう。今回一件は**小沢だけが標的**、二階捜索は漆間発言の申し訳、

(7) **民主党の小沢と心中覚悟支持団結衝撃で国民覚醒、陰謀打破こそがその将来を開く!!!**

かく経緯を見ると敵狙いは最も手ごわい辣腕小沢潰し一本が判る。なぜ小沢なのか国民も彼の敵に恐怖される力が判ってない。というかそれが一番国民に知られたくないのだ。前回福田腹話術での密室会談だましではテロ特措法では小沢に折れると嘘を尽き、連立構想を持ちかけ、自立政権勢いに乗る若手総スキャンで小沢窮地、止めたとまで言い出す羽目に。今回のマスコミ連日報道であたかも小沢とその部下達が土建業者受注に口利き、献金を受けていたかの**贈収賄印象**を与える得る報道だがその出所が不明。検察リークならば堂々公然記者会見でもすればよいでないか。**現日本マスコミとNHKは強姦前科2犯元総理小泉の正体真相は全く触れない**。郵政民営化で日本の金庫世界開放を委ねられた戦後最大CIA内閣だったのだ。この重大事実を持って日本マスコミが何者かを国民はとくと判断せねばならない。彼らは決して日本人大衆の味方などでなく、逆の敵回し者。こんな腐敗報道機関に国民が大規模に騙され、乗れば今度は国民が政治を裏切る逆舞台になるのだ。ここで民主党議員が選挙保身で小沢切捨てで助かろうなどとすれば日本に未来はないだろう。なぜならば今マスコミが最大強調してる点は**ともかく小沢は駄目だが、時期政権は民主党支持が最大**と言う甘い触れ込みの真意とその意図を汲み取らねばなるまい。

話は逆になる、通うに薄汚い粗雑強引な陰謀を画策してまで、己の既存権益に固執する集団に対して、今回の**陰謀暴露打破**こそは未来日本を切り開く絶好の機会でもあるのだ。

補足：固めた大金でなければいけない、将来に実を着ける特大事に使う、が現危急政治要請であるに、逆の小銭ばら撒き給付金、国民は**麻生投げ銭**を拾う浅ましさを自覚した方が良い。確かに巷には1万2千円に困窮の人は多い。だがそれはマッチポンプ、この長い先をどうする?! 給付金支給と同期しての西松建設-民主小沢秘書逮捕、他方**CIA丸抱え自民**はお咎めなし(後日漆間自白発言で、急遽検察は自民二階派への手入れと有様)。選挙次第で首が飛ぶ様な者は真の権力者などでない、確かに**企業献金**は問題あり、だからいわくつき給付金は支持政党に**個人献金**で浄化還流するがベスト、**政治資金は不可欠**、政治家に危うい金を頼りにさせてる**ケチな国民の方が遥かに罪深い**。今回ばかりは「大マスコミに騙され真相無視で、国民の方が政治を裏切るか否か?」を試されてる逆舞台!!!.

後書き：今回西松事件が起きて疑獄本質を解明すべく望んだが、主役小沢を知らない事に気がついたが、そこで大局となる**①CIA自民保守本流と自立派-野党の利権対立構造**、**②米国(意向)CIA謀略理論と臨床事実**、**③政治資金規正法実態**の3本構造の視点から解析、いずれも今回小沢秘書逮捕は**政権交代可能性に臨んでの既成闇体制反動巻き返し**=戦後日本解放民主化抑圧の**陰謀の始まり**との結論は一層確信できた。だがこれを如何に素人一般国民に了解させる事ができるかで勝負決定。**③**も不明多き制度だが、見方では常に政治家に弱点を持たせ、既成体制支障が予想される時、**検察権力を動かし標的政治家をいつでも逮捕する為の体制ろ過装置**ではとの疑念を抱いた。日本には陰険巧妙類似装置は多いのだ。

－参考文献と資料－

- (1)倉前盛通、悪の論理、日本工業新聞社、1977。 パンセの謀略理論言及がある。
- (2)藤原肇、小泉純一郎と日本の病理、2005。
- (3)山川暁夫、CIA、教育者、1978。 占領下人脈に始まる CIA の日本裏支配の実像。
- (4)森川哲郎、戦後史、アメリカ謀略の謎、日本文芸社、1972。
- (5)K. Millegan & A. Sutton、闇の権力。 スカル&ボンズ、徳間書店、2002。
CIA 創立に係るドイツコネの米国極右勢力の paper clipp 作戦等の歴史と思想(敵を設定しての永久戦争とか、国家国民は独裁優生貴族の奴隷のヘーゲル哲学)等に詳しい。
- (6)William. Blum、益岡賢訳、アメリカの国家犯罪全書、作品社、2003。
中南米、アジア、世界各国での悪魔所業総目録。
- (7)佐藤朝泰、閨閥、立風書房、1985。 天皇家筆頭とする戦後日本の既成権力。
- (8)神代康隆、神の計画書、黙示録大予言、学研、1983。 人類滅亡を計る憎悪動機秘密結社。
- (9)赤間剛、神々の陰謀 I II III、時の経済社、1984、1985、1985。
没落防止同盟の少数世襲貴族財閥が裏表で支配する資本主義インタナショナルの実態。
- (10)B. グロス、フレンドリィファシズム、NHK 出版、
危機を自ら演出、それを好機に換える技術。
- (11)矢部武、人種差別の帝国、光文社、2004。 没落白人の有色人種憎悪問題。
- (12)馬野周二、藤原肇、日本の危険<日米対決の深層>、東明社、1986。
「日本の所得構造を top heavy せよ」の米国ベーカー国務長官発言。
- (13)小山内宏、見えない政府、the CIA、ベストブック社、1976。
国民離反感情を形成する為の CIA 革新政権転覆謀略想定ドラマ。
- (14)立花隆、週間文春「オームの深い闇」、文芸春秋社、1996?。
- (15)森村英一、悪魔の飽食、光文社、1983。
戦後の日本医学会にも米国紐の彼らが巢食った(エイズの旧緑十字等)。
- (16)D. Bergermini、飯田もも訳、天皇の陰謀、現代書林、1983>。 戦争は天皇が決断した。
- (17)NHK 3chTV、秋丸機関報告書、1991/12。
- (18)Fuji 8ch TV、昭和 16 年の敗戦、1991/12。
- (19)田中角栄、日本列島改造論、日本工業新聞社、1973。
- (20)宮元雅史、歪んだ正義(特捜検察の語られざる真相)、角川文庫、2003
- (21)田中宇、仕組まれた 9/11、PHP 出版、2002。 <<http://www.tanakanews.com/>>
- (22)Benjamin Fulford、9. 11 テロ捏造、徳間書店、2006。
- (23)歴史読本 1986/9、特集：世界謎の秘密結社、新人物往来社。
- (24)歴史読本 1988/9、特集：世界を動かす謎の国際機関、新人物往来社。

付録1:西松建設事件の経緯:西松建設の元副社長らが裏金作りで逮捕される.

<http://dailynews.yahoo.co.jp/fc/domestic/nishimatsu_kensetsu/#infoHeader>

海外でつくった裏金約7000万円を無届けで国内に持ち込んだとして、2009年1月14日、外国為替及び外国貿易法（外為法）違反容疑で、同社元副社長の藤巻恵次容疑者（68）＝現非常勤顧問＝ら4人が逮捕された。同社が海外の工事で捻出した裏金は約10億円に上るとされる。【[西松建設元副社長ら逮捕 外為法違反容疑で東京地検](#) - 産経新聞(2009年1月14日)】

年	日付	概要
2008年	6月04日	西松建設本社などを東京地検特捜部が外為法違反容疑で家宅捜査
	11月19日	西松建設元海外事業部副事業部長を業務上横領容疑で東京地検が逮捕
	21日	西松建設前社長宅を外為法違反容疑で東京地検特捜部が家宅捜査
2009年	1月14日	西松建設元副社長らを外為法違反容疑で逮捕
	20日	西松建設前社長宅を外為法違反容疑で逮捕
	2月03日	西松建設元副社長らを起訴
	10日	西松建設前社長を起訴、法人としての同社も略式起訴
	24日	長野県知事元秘書の同県参事が特捜部の事情聴取後に自殺
	3月3日	小沢一郎民主党代表の資金管理団体の会計責任者で公設秘書、政治資金規制法違反容疑で逮捕 → 民主党・小沢代表の秘書逮捕 - Yahoo!トピックス
	3月14日	西松事件で小沢一郎公設秘書大久保秘書の拘置期限

西松建設は政治団体を隠れみに企業献金を行っていた。二つの政治団体を隠れみにし、国会議員らに企業献金をしていた問題で元幹部は調べに対し「現在の国沢幹雄社長が団体設立を主導した」と説明。二つの政治団体は2006年の解散までに計5億円余りの会費を集め、与野党首脳らへの献金やパーティー券購入で計約4億8000万円を支出していたとされる。

西松建設より資金提供を受けた主な政治家

【資金提供を受けた主な政治家（04～06年）単位：万円】

自民党		民主党		改革クラブ		自治体首長	
二階派	838	小沢一郎	2400	渡辺秀央	200	広瀬勝貞大分県知事	100
藤野公孝	400	山岡賢次	200			石川嘉延静岡県知事	100
尾身幸次	400					阪口善雄吹田市長	100
藤井孝男	400					矢田立郎神戸市長	30
森喜朗	300					村井仁長野県知事	20
山口俊一	200						
加納時男	200						
中島真人	200						
川崎二郎	140						
林幹雄	140						
山本公一	100						
古賀誠	16						
渡辺具能	14						

注：提供額は政党支部分も含む

参：日刊ゲンダイ2009年1月16日掲載記事を基に作成

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%A5%BF%E6%9D%BE%E5%BB%BA%E8%A8%AD>

2008年11月19日、海外事業で多額の裏金を捻出したとされる疑惑で、このうち約3500万円（30万ドル）を着服したとして東京地検特捜部は業務上横領容疑で同社海外事業部の元副事業部長を逮捕。21日元副事業部長が海外事業で捻出した裏金約1億円を無断で国内に持ち帰った事件で國澤幹雄社長自宅も外国為替及び外国貿易法違反容疑で家宅搜索。またこれらの疑惑の追求過程で同社OBらを代表とした政治団体（『新政治問題研究会』『未来産業研究会』）を隠れ蓑に使い、自民党の森喜朗・二階俊博・尾身幸次・加藤紘一、民主党の小沢一郎代表等、国会議員の資金管理団体へ多額の違法な政治献金を継続していたことも2008年12月31日に表面化しており、東京地検も事実を掌握している模様である。

2009年1月20日、東京地検特捜部は國澤を家宅搜索における同じ容疑で逮捕。國澤はこれに先立ち、社長を辞任。公式の理由は「経営責任明確化のため」。26日、国土交通省から指名入札の資格停止3ヶ月の処分。通常は1ヶ月だが、社長が逮捕された上に、容疑の事件が防衛施設庁談合事件に関与しての資格停止期間中に起きている事が問題視された。

付録2：政治資金規正法と小沢一郎：

(1)<<http://mamono.2ch.net/test/read.cgi/newsplus/1236575626/>>

鳥越俊太郎氏。「政治資金の透明化については、小沢さんが一番中心でずっとやってきた」。本人にはその自負があるから、「全部オープンにしてるのにどこが悪いんだ、と一歩も退かないのは当然だと思うんですね」

(2)<<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B9%B3%E9%87%8E%E8%B2%9E%E5%A4%AB>>

小泉強姦前科問題を国会質問した平野貞夫元議員に着いて：

参考書：藤原肇, 小泉潤一郎と日本の病理, 光文社, 2005,

(3)<<http://archive.mag2.com/0000154606/20090117121526000.html>>

(小沢盟友の)平野貞夫氏の「虚像にとらわれた小沢一郎」という本の中に小沢氏が、政治資金の問題や選挙違反の問題にとっても高い見識をもち、どんな些細だと思われることもやらないようにしているところが書かれている。

(4)政治献金実態は経団連企業の**圧倒的自民党献金**/話は全く逆さま!!!

<<http://blog.sankouan.sub.jp/?eid=942314>><以下は原文を簡略縮小化>。

(a) 2007年政党交付金。

自民党＝166億円；民主党＝111億円；公明党＝28億円；共産党ゼロ
社民党＝10億円、国民新党＝3億円；新党日本＝2億円、

(b) 2007年の日本経団連会員企業からの政治献金額。

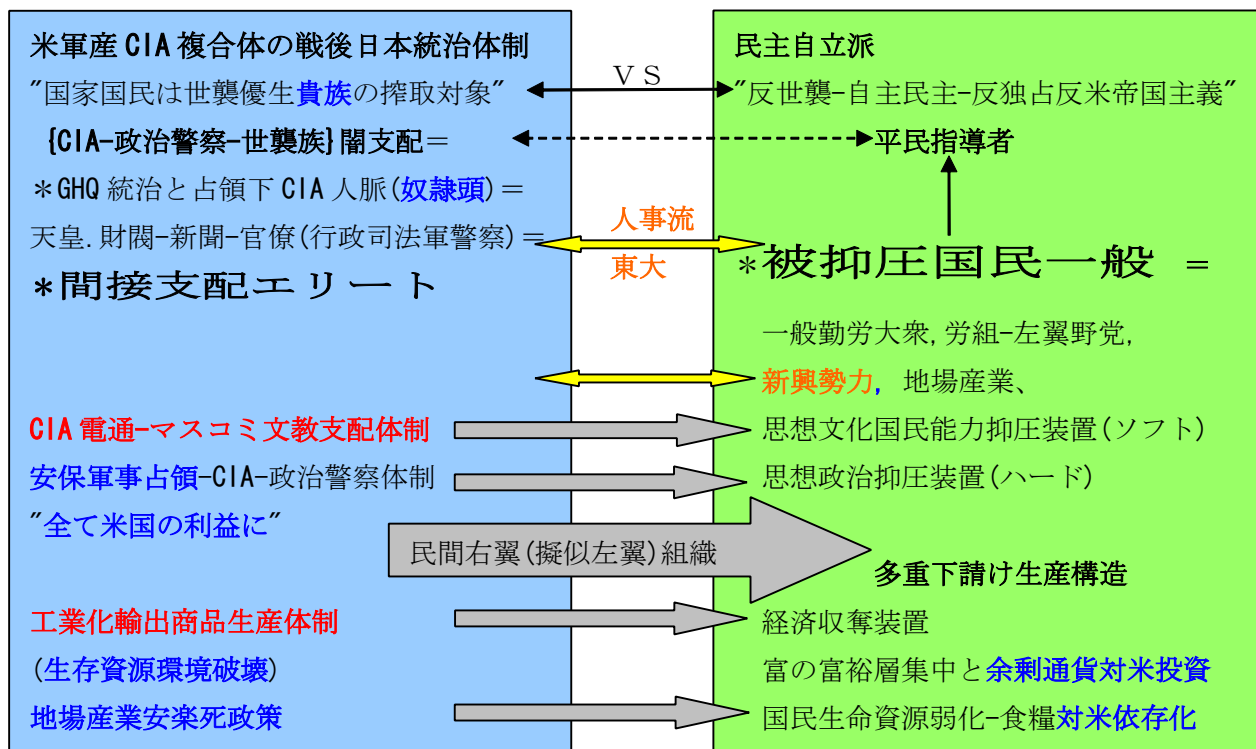
総額＝29億9000万円；うち自民党＝29億1000万円；その他政党＝8000万円

政治家個人への献金は原則禁止、政治家個人献金は、政治団体（政治家が指定する資金管理団体や後援会など）を通じて献金。政党献金は政党（本部および支部）へ直接献金する場合と政党指定政治資金団体へ献金する場合の2種類、これは**企業献金も可能**で、政治家が支部長の政党支部献金を取れば、政治家が企業献金を受け取ることが可能。政党・政治団体・政治家個人の政治献金実態がつかめない。全体像を明らかにし、新発想が必要だ。抜け道のない[政治資金規正法]や[公職選挙法]を根本改正し、国民政治不信解消が可能だろうか。

さて今回検察動きは「国策捜査」といわれる。小沢公設第一秘書に対する逮捕容疑は**政治資金規正法違反(虚偽記載)**である。西松建設からの企業献金であると知りながら「政治団体」からの寄附として偽収支報告書を作成したというもの。それなら西松ダミー団体から資金提供の全政治団体会計責任者一斉逮捕を行うべきだった。小沢秘書逮捕を見て西松マネー関係者は、当然証拠隠滅を図る。小沢代表側への強制捜査を先にする事で結果的に小沢潰しを実現し、自民党政治家に逃げ道を与えた。ダム建設等に絡む「斡旋利得処罰法違反」「収賄」の噂が出ているが、これは自民党側の政治家に関わるものであろう。そこに行くための別件逮捕だとしても、「国策捜査」の側面は拭えない。

付録3：西松疑獄に至る陰謀への大局構造：

(1) 支配統治の源構造：



(2) 支配統治の老朽自滅化：現時点の赤矢印部分を国民が理解すれば革新政治勝利。

